

令和2年第1回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市会議員会議

令和2年2月5日（水） 議員団会議終了後
保土ヶ谷区役所2階 202会議室

次 第

開 会

議題1 令和2年度保土ヶ谷区編成予算案について

議題2 令和元年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況等について

2-1 星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業について

2-2 保土ヶ谷ほっとなまちづくりについて

閉 会

議題 1

令和 2 年度

保土ヶ谷区編成予算案概要

《目次》

1	令和2年度保土ヶ谷区編成予算案について	1
2	個性ある区づくり推進費自主企画事業について	3
(1)	自主企画事業施策体系	3
(2)	主な事業の概要	
	災害対策推進事業	4
	鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業	4
	国際文化理解事業	5
	ほ도가や歯っぴいHealth事業	5
	暮らしの衛生サポート事業	6
	ほ도가や花のおもてなし事業	6
	ほ도가やhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～	7
(3)	自主企画事業一覧	8
(4)	統合事業費一覧	14
3	当区からの提案に基づく企画事業	
(1)	《参考1》区局連携促進事業	15
(2)	《参考2》元気な地域づくり推進事業	15

1 令和2年度保土ケ谷区編成予算案について

～「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」に向けて～

地域の課題や特性などを踏まえ、2年度は、個性ある区づくり推進費 682,948 千円、区局連携促進事業・元気な地域づくり推進事業 7,709 千円の予算を編成しました。

2年度は、区民の皆様の想いや地域のつながりを大切にしながら、全38事業を推進していきます。また、事業の推進にあたっては、地域との協働や各課との連携を促進し、区役所をあげて全職員が一丸となり「チーム保土ケ谷」で取り組みます。

(1) 個性ある区づくり推進費区分別総括表

(単位：千円)

区 分	2年度予算案	元年度予算額	増△減
自主企画事業費	100,982	105,212	△4,230
統合事務事業費	43,180	42,861	319
区庁舎・区民利用施設管理費	538,786	533,436	5,350
合 計	682,948	681,509	1,439

(2) 内訳

ア 自主企画事業費（全38事業）

(単位：千円)

区分		2年度予算案	元年度予算額	増△減
4 つ の 重 点 施 策	暮らしの安全・安心の確保	23,088	30,344	△7,256
	誰もが健やかに暮らせる 環境づくり	24,542	20,761	3,781
	つながり・支えあいの推進	21,981	21,107	874
	魅力あるまちづくり	18,666	19,923	△1,257
信頼される区役所づくり ～「チーム保土ケ谷」の強化～		12,705	13,077	△372
合 計		100,982	105,212	△4,230

イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区分		2年度予算案	元年度予算額	増△減
	統合事務費	24,938	24,908	30
	統合事業費	18,242	17,953	289
合 計		43,180	42,861	319

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区分		2年度予算案	元年度予算額	増△減
	区庁舎	101,006	97,863	3,143
	ほどがや市民活動センター	25,879	25,817	62
	土木事務所	8,857	8,901	△44
	公会堂	56,384	56,061	323
	地区センター等	337,739	335,873	1,866
	広場・遊び場	2,388	2,388	0
	区庁舎・区民利用施設修繕費	6,533	6,533	0
合 計		538,786	533,436	5,350

(3) 当区からの提案に基づく企画事業費

(単位：千円)

区分		2年度予算案	元年度予算額	増△減
区局連携促進事業 ※1		3,000	3,290	△290
内 訳	星川駅周辺のバス交通アクセス向上 検討事業（道路局）	3,000	3,000	0
	（緊急時情報システム運用試行事業 （総務局））	0	290	△290
元気な地域づくり推進事業 ※2		4,709	5,540	△831
内 訳	“輝け、地域力！”事業 （令和2年度から地域づくりプロジ ェクト「ほどがや ^{がっこう} 楽考」事業を統 合）	2,581	3,036	△455
	地域・まちづくり活動支援事業	1,217	1,432	△215
	保土ヶ谷ほとなまちづくり地区別 計画推進事業	911	1,072	△161
合 計		7,709	8,830	△1,121

※1 個性ある区づくり推進費の財源を活用し、区と局が連携して行う事業。事業所管局に予算計上。

※2 地域の特性に応じて区が事業提案し、市民局予算を用いて実施する事業。

2 個性ある区づくり推進費自主企画事業について

自主企画事業については、昨年度に引き続き、「4つの重点施策」と「信頼される区役所づくり」の5分野にまとめました。

2年度は、新規2事業を含めた全38事業に取り組みます。

(1) 自主企画事業施策体系（全38事業、計：100,982千円）

<4つの重点施策>

◆ 暮らしの安全・安心の確保（全5事業） 23,088千円

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全などに取り組みます。

《主な事業》災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】、
暮らしの衛生サポート事業

◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり（全10事業） 24,542千円

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、働き・子育て世代の生活習慣病予防、介護予防による健康寿命の延伸などに、切れ目なく取り組みます。

《主な事業》ほどがや歯っぴいHealth事業、ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート、

◆ つながり・支えあいの推進（全11事業） 21,981千円

自治会町内会をはじめ幅広い分野の皆様との協働の推進や、地域活動や団体間の連携強化の支援、地域に関心を持つきっかけづくりや担い手の発掘・育成に取り組みます。また、民生委員・児童委員を支援する協力員を配置し、ひとり暮らし高齢者などへの地域での見守り活動を推進します。さらに、障害のある方の社会参加の機会拡大に向けた取組を進めます。

《主な事業》保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業、【新規】ほどがや花のおもてなし事業

◆ 魅力あるまちづくり（全9事業） 18,666千円

自然や歴史・文化など地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上など持続可能なまちづくりの推進、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を契機とした各国との多文化共生の推進等、区の魅力を高めて発信し地域への愛着を育みます。

《主な事業》【新規】鉄道高架下を活用したまちづくり検討事業、国際文化理解事業

<信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～>（全3事業） 12,705千円

職員一人ひとりが業務知識・応対スキルの向上に取り組み、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践します。また、庁舎環境改善により、安心して快適に利用できる区役所づくりを推進します。

《主な事業》「利用しやすい区役所」推進事業

※太字で記載しました7つの事業については、4～7ページに事業概要を掲載しています。

(2) 主な事業の概要

※事業内容のうち、下線は新規・拡充

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
◆ 暮らしの安全・安心の確保 災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】 (総務課)	10,613千円	12,390千円	▲1,777千円

1 地域の現状・課題

- (1)発生が危惧される大地震や昨年の台風15・19号の経験を踏まえ、区民への適切な情報伝達が必要
- (2)感震ブレーカーの設置など、区民の自助・共助の取組推進に向けた効果的な広報が必要
- (3)自助・共助に関する取組のさらなる推進と地域防災の担い手育成が必要

2 事業内容

- (1)平常時からの防災情報の周知と効果的な広報啓発
 - ア 風水害、震災対策キャンペーンの実施
 - イ 減災運動推進大会の開催
 - ウ 地震・風水害それぞれに応じた避難先・避難場所の周知
 - エ 民間事業者との連携による広報物配架等【拡充】
- (2)保土ヶ谷区緊急時情報システムや河川水位警報システムの運用
- (3)感震ブレーカーの設置促進
 - 《令和元年度区内実績(令和2年1月末現在)》
 - 総務局補助:5自治会110世帯、区補助:13自治会363世帯
- (4)自助・共助の推進と地域防災の担い手育成
 - ア 地域への防災講習会講師派遣及び地域防災拠点運営委員研修の実施
 - イ 小学校4年生向けリーフレットの継続配布
 - ウ 中学生・高校生への防災講習会の実施【拡充】



中学生向け防災講習会の様子
(保土ヶ谷中学校)

3 効果

- (1)迅速な情報発信と正確な防災情報の周知による、的確な避難行動等の実践
- (2)各家庭における減災行動の実践や地域防災の担い手の育成による地域防災力の向上

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
◆ 魅力あるまちづくり 《新》鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業 (区政推進課)	5,000千円	-	5,000千円

1 地域の現状・課題

- (1)星川駅周辺地区の中心に位置する高架下空間を有効活用し、南北一体化や周辺地域の活性化の推進・にぎわいの創出が必要
- (2)地区の歴史的魅力を発掘し、高架下を活用した区内外の来街者への魅力発信が必要
- (3)高架下空間を駅周辺の公共施設と連携し活用することで、区心部の機能強化を図ることが必要

2 事業内容

- (1)星川駅周辺高架下の活用検討【新規】
 - ア 令和3~4年度にかけて利用可能となる星川駅高架下空間において、区心部にふさわしい暮らしやすくにぎわいのあるまちづくりを事業者と連携し推進
 - イ 駅周辺の歴史についての調査
 - ウ 周辺公共施設との連携検討
- (2)まちづくりガイドラインの策定
 - ア 昨年度の検討案に対する市民意見募集を実施
 - イ ガイドラインを策定



整備中の星川駅高架下

3 効果

連続立体交差事業によるまちの変化をふまえ、区心部の発展と利便性の向上、かつ、安全で快適な居住環境の形成

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
◆ 魅力あるまちづくり 国際文化理解事業 (地域振興課)	948千円 (1,915千円)	1,300千円	▲352千円 (615千円)

※上段が自主企画事業費、下段が区配額を含む総事業費

1 地域の現状・課題

- (1) 区内にも5,772人(令和元年11月現在)と多くの外国人が在住していることから、多様な文化・生活習慣を持つ人々と共に生きる社会を目指すことが必要
- (2) 特に、保土ヶ谷区とブルガリア・ソフィア市はパートナー都市協定を締結して様々な交流を行っているが、令和元年10月に横浜市が東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして登録されたことを契機として、より一層、ブルガリアとの交流を深めていくことが必要



ブルガリア楽曲の演奏

2 事業内容

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてのブルガリア共和国との交流【新規】
 - ア ブルガリア選手と区民との交流(地域イベント等への参加 等)
 - イ 日本在住のブルガリア出身スポーツ選手と区民との交流 等
- (2) 小学校におけるブルガリア文化を紹介する特別授業の実施(年3~4校)
- (3) 区民まつり、花フェスタ等におけるブルガリア文化の紹介
 - ア 区民まつり、花フェスタにおけるステージ出演及びブース出展
 - イ その他区民向けイベント等の開催



ブルガリア小学校特別授業

3 効果

区民の国際文化理解の促進及び多文化共生社会の醸成

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり ほどがや歯っぴいHealth事業 (福祉保健課)	1,400千円	1,183千円	217千円

1 地域の現状・課題

- (1) むし歯のある3歳児の割合が10.75%と、市平均9.3%より高値
- (2) 歯周病検診の受診率は18区中2位だが、受診の結果、要治療が77.9%となっているため、若いうちから口腔ケアの正しい知識を理解していただく必要

2 事業内容


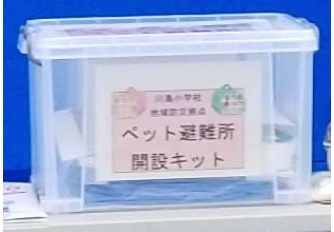
「横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例」を受け、歯科医師会と連携協力しながら、各世代に必要な歯科保健に関する知識の普及啓発や、口腔ケアの取組方法などをPR
 ≪具体的な取組≫


- (1) 乳幼児期を対象とした口腔衛生の向上支援
 - おやつに甘いものが増え、むし歯が増加しやすい時期を捉え、お口のケアを学ぶパンフレットを配布
- (2) 成人期を対象とした歯周病予防啓発
 - 中小企業従業員に向け、歯周病予防や歯の手入れ方法を出前講座として実施【新規】
- (3) 高齢期を対象とした噛む力や飲み込む力の衰え(オーラルフレイル)の予防啓発【新規】
 - 口腔機能を維持するための健口体操の普及や、口腔ケアの方法を学ぶイベントを歯科医師会と協働開催



3 効果

- (1) 正しい口腔ケアの方法を普及し、むし歯のある児の割合を低下
- (2) 歯周病及びオーラルフレイル予防のための正しい知識の普及促進

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
◆ 暮らしの安全・安心の確保 暮らしの衛生サポート事業 (生活衛生課)	1,357千円	1,066千円	291千円
1 地域の現状・課題 (1)「子ども食堂・地域食堂」の実施形態は多様で、調理担当者は主に地域ボランティアであるため、施設の状況に応じた個別かつ継続した衛生管理支援が必要 <区内施設数:平成29年 6施設 → 令和元年12月時点 10施設> (2)各地域防災拠点で、ペット同行避難の円滑な受入体制確立が必要 2 事業内容 (1)「子ども食堂・地域食堂」への衛生支援【新規】 ア 施設を個別訪問し、ルミテスター(清浄度を測る簡易測定器)や温度記録計等を使用し、調理器具の衛生状態や食品の保管状況を検証 イ 検証結果に基づき、食中毒、食物アレルギー事故防止のための記録表やチラシ等の衛生教育ツールを作成・配布 (2)災害時ペット対策 ア ペット同行避難訓練や一時飼育場所の選定、ルール作り等への個別支援(全27拠点) イ <u>一時飼育場所の設置に必要な器材等をセットにしたペット避難所開設キットの導入(5拠点)【新規】</u> ウ ペットの飼い主に啓発グッズ(クリアファイル・迷子札)を配布 3 効果 (1)「子ども食堂・地域食堂」への衛生支援 ア 衛生意識向上による、食中毒や食物アレルギー事故の防止 イ 子どもの居場所として社会的ニーズが高まっている中、安全・安心な場所としての認知が向上 (2)災害時ペット対策 ア 実践的なペット同行避難訓練や一時飼育場所の設置、同行避難の受入が促進			
			ルミテスターで清浄度を確認
			ペット避難所開設キット

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
◆ つながり・支えあいの推進 《新》ほどがや花のおもてなし事業 (高齢・障害支援課)	812千円	-	812千円
1 地域の現状・課題 (1)障害のある方が地域でいきいきと生活するためには、社会参加の機会を更に拡大することが必要 (2)障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター等(以下「事業所等」という)が作業の受注拡大をするために新たなスキルの取得が必要 2 事業内容 (1)障害のある方が事業所等でフラワーアレンジメントを作製し、週1回、区役所の窓口に配達・設置【新規】 (2)作製に関しては、スキルアップのための講師を地域で活躍する区民に依頼し、地域との協働により実施【新規】 3 効果 (1)障害のある方がフラワーアレンジメントを配達、設置することで社会参加の機会が拡充 (2)事業所等の受注作業の新規開拓となり、作業内容が拡充 (3)フラワーアレンジメントを各窓口に飾ることによる来庁者の満足度向上 (4)講師を通じた地域との交流や、区役所における一般区民との交流の機会が増え、障害の理解が促進 (5)「ほどがや花憲章」や「ガーデンネックレス」の普及啓発			
			フラワーアレンジメントのイメージ

施策分野・事業名	2年度原案	元年度予算	増▲減
<p>◆ <u>誰もが健やかに暮らせる環境づくり</u></p> <p>ほ도가やhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～ (こども家庭支援課)</p>	6,062千円	5,304千円	758千円
<p>1 地域の現状・課題</p>			
<p>子育て中の9割以上の方が楽しいと感じていると同時に、約2割の母親は孤立感を抱いていることや、増加する外国人親子についても習慣の違いや言葉の壁があることから、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携した子育てしやすい環境づくりが必要</p>			
<p>2 事業内容</p>			
<p>安心して育児ができるよう、また人とつながる子育てを支援していくため妊娠期から切れ目なく子育てをサポートする事業を実施</p>			
<p>(1)夫婦のより良いコミュニケーションづくり【拡充】</p>			
<p>妊婦の心と体の安定を図るためのリラクゼーションを取り入れた「両親教室」</p>			
<p>(2)仲間づくり・情報発信の工夫</p>			
<p>ア <u>地域子育て支援拠点や国際交流ラウンジと協力した外国人親子の居場所づくり【新規】</u></p>			
<p>イ 第1子の子育て不安の解消と仲間づくりを目的とした「赤ちゃん教室」</p>			
<p>ウ 保育園の園庭開放や公民保育園のネットワークを活かし遊びを紹介する「ほがらか広場」</p>			
<p>(3)より良い親子関係づくり【拡充】</p>			
<p>親子関係を良くするための「ほめ方・しかり方練習講座」</p>			
<p>(4)地域とのつながりづくり</p>			
<p>多くの方に子育て情報を発信する「ほ도가やこどもニコニコフェスタ」や多世代交流と情報共有を目的とした「地域子育て支援連絡会」の実施</p>			
<p>3 効果</p>			
<p>子育てにおける仲間づくりの推進、孤立感の軽減</p>			



赤ちゃん教室



ほ도가やこどもニコニコフェスタ

(3) 自主企画事業一覧 (②100,982千円・38事業 ①105,212千円)

◆ **暮らしの安全・安心の確保** 【23,088千円】

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全などに取り組みます。

1 **エコ活動推進事業** 【②770千円・①2,671千円】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年度までに22%、2030年度までに30%、2050年度までに80%以上削減(2013年度比)」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行います。

2 **災害対策推進事業(20万区民の自助・共助による減災運動)**

【②10,613千円・①12,390千円】

安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため、「20万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、地域防災力の向上を図ります。また、災害時の迅速な緊急情報の提供や区本部体制の整備を図り、危機管理体制の向上を図ります。

3 **保土ヶ谷区地域防犯力向上事業** 【②5,964千円・①5,546千円】

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、振り込め詐欺などの犯罪を防止し、安心・安全なまちづくりを推進します

4 **交通安全対策事業** 【②4,384千円・①7,524千円】

交通安全運動や交通安全教育など交通事故防止のための啓発を推進します。また、駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発します。

5 **暮らしの衛生サポート事業** 【②1,357千円・①1,066千円】

生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすく啓発し、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援します。

◆ **誰もが健やかに暮らせる環境づくり** 【24,542千円】

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、働き・子育て世代の生活習慣病予防、介護予防による健康寿命の延伸などに、切れ目なく取り組みます。

6 **スポーツの街ほどがや推進事業** 【②4,063千円・①2,951千円】

誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。

7 みんなで育む がやっこ事業【②1,076千円・①1,085千円】

“がやっこ（元気な保土ヶ谷の子どもたち）”の健全育成を図るため、地域の資源である横浜国立大学と連携し、体験型講座や学生派遣による学習支援等を行います。

8 青少年健全育成事業【②456千円・①306千円】

子ども会と連携して、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図るとともに青少年の健全育成を推進します。

9 がやっこキッズ学び育み事業【②2,950千円・①2,329千円】

学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身に付けられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行います。

10 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【②6,062千円・①5,304千円】

地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきます。

11 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【②2,037千円・①2,103千円】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすい若年やひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。

12 ほどがや歯っぴい Health 事業【②1,400千円・①1,183千円】

口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保つていくために必要な知識や口腔内のお手入れ方法を、実技指導等を取り入れながら啓発します。

13 ほどがや元気づくり事業【②4,380千円・①4,168千円】

「働き・子育て世代」（30～50代）中心とした区民へ健康に関する情報提供やきっかけづくりをすることで、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めます。

<p>14 輝けシニア！2025事業【②1,429千円・①643千円】</p> <p>高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めます。</p>
<p>15 学齢障害児フレンドサポート事業【②689千円・①689千円】</p> <p>障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援します。</p>
<p>◆ つながり・支えあいの推進 【21,981千円】</p> <p>自治会町内会をはじめとした幅広い分野の皆様との協働の推進や、地域活動や団体間の連携強化の支援、地域に関心を持つきっかけづくりや担い手の発掘・育成に取り組みます。また、民生委員・児童委員を支援する協力員を配置し、ひとり暮らし高齢者などへの地域での見守り活動を推進します。さらに、障害のある方の社会参加の機会拡大に向けた取組を進めます。</p>
<p>16 広聴の区民協働事業【②832千円・①599千円】</p> <p>「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行します。</p>
<p>17 横浜国立大学留学生の地域交流推進事業【②665千円・①571千円】</p> <p>地域と留学生との交流を通じて、地域の活性化を図ります。また、地域での活動やイベントへの参加などを通じ、留学生が日本の文化に触れる機会を増やすことで、日本や横浜、保土ヶ谷の魅力を再発見してもらうとともに、留学生が地域に対して、自国の文化を発信する機会を増やすことにより、地域との交流を促進します。</p>
<p>18 ほどがや区民まつり【②4,900千円・①4,800千円】</p> <p>区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティ醸成のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。</p>
<p>19 自治会町内会支援事業【②3,735千円・①3,391千円】</p> <p>市政・区政に関する情報提供などを行い、地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支援します。</p>
<p>20 ほどがや☆元気村【②570千円・①611千円】</p> <p>保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用し、児童・生徒をはじめ多くの区民の多世代交流の場を作ります。実行委員（ボランティア）による自主的な企画・運営等の活動を通して、地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作ります。</p>

21 市民活動支援事業【②4, 149千円・①4, 616千円】

市民活動・生涯学習活動の拠点として市民活動支援センター（アワーズ）を活用し、地域で活動する区民や団体間の連携・協働を進めるため、区民の要望やニーズを反映したきめ細やかな支援を行います。

22 はぐくみプロジェクト【②3, 140千円・①2, 139千円】

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施します。

23 障害者地域支えあい連携推進事業【②987千円・①1, 017千円】

障害者支援関係機関の中心となる保土ヶ谷区地域自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援します。

また、当該協議会の部会活動として実施している、通所事業所等による自主製品販売の販路確保及び拡大を支援し、障害者の社会参加の機会拡大を図ります。

24 《新規》ほどがや花のおもてなし事業【②812千円】

障害のある方が作ったフラワーアレンジメントを保土ヶ谷区役所の各窓口に展示します。それにより、地域・事業所・行政とのパートナーシップを高め、障害のある方の社会参加の機会を増やします。

25 保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業【②923千円・①2, 089千円】

第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：平成28年から平成32年（令和2年）まで）を推進します。また、庁内で連携するとともに、それぞれの地域が、様々な抱える課題に対し主体的に取組を進められるよう、地区支援チームが支援し、第4期計画を策定します。

26 地域見守り推進事業【②1, 268千円・①1, 274千円】

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。

また、あんしん訪問員とともに地域の見守り等を行っている、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。

◆ 魅力あるまちづくり 【18,666千円】

自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上など持続可能なまちづくりの推進、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を契機とした各国との多文化共生の推進等、区の魅力を高めて発信し地域への愛着を育みます。

27 歴史浪漫ほどがや事業【②2,667千円・①2,719千円】

旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めます。

28 《新規》鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業【②5,000千円】

星川駅周辺高架下において、駅周辺の地域資源を取り入れたオープンスペースの整備に向けた検討や、地域交流を活性化する機能の導入検討等を進めることにより、区心部にふさわしい賑わいあるまちづくりを目指します。

29 保土ヶ谷商工業支援事業【②578千円・①668千円】

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店街を宣伝する場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら商店街のPRを行います。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行っていきます。

30 地産地消推進事業【②408千円・①450千円】

農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めます。

31 国際文化理解事業【②948千円・①1,300千円】

国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生社会の実現を目指します。更に、オリンピックのブルガリアホストタウンの事業を進めます。

32 花薫るきれいな街ほどがや事業【②4,842千円・①4,492千円】

次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。

33 読書活動推進事業【②750千円・①650千円】

区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進します。

<p>34 保土ヶ谷区芸術の街【②2, 747千円・①3, 047千円】</p> <p>保土ヶ谷区民の文化活動を通じた地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及事業等を実施します。</p>
<p>35 広報推進事業【②726千円・①1, 597千円】</p> <p>様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開します。</p>
<p><信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～>【12, 705千円】</p> <p>職員一人ひとりが業務知識・応対スキルの向上に取り組み、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践します。また、庁舎環境改善により、安心して快適に利用できる区役所づくりを推進します。</p>
<p>36 区総合調整事業【②2, 000千円・①2, 000千円】</p> <p>保土ヶ谷区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、予算編成時に想定していなかった緊急的・突発的な課題に対して、機動的かつ柔軟に対応します。</p>
<p>37 「利用しやすい区役所」推進事業【②10, 022千円・①9, 603千円】</p> <p>区民の皆様が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上します。</p>
<p>38 窓口サービス向上事業【②683千円・①724千円】</p> <p>職員の応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、業務改善に取り組むことで、職員一人ひとりが区民の皆様への傾聴の姿勢を持ち、丁寧かつ迅速な対応を基本としたサービスの提供を行うことのできる、区民の皆様から信頼される区役所づくりに取り組みます。</p>
<p>(参考) 2年度未計上の事業</p>
<p>生活保護受給者に対する家計相談支援事業【①1, 147千円】</p> <p>局事業化による終了</p>
<p>星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業【①5, 000千円】</p> <p>鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業へ移行</p>
<p>統計便覧作成事業【①277千円】</p> <p>広報推進事業へ統合</p>
<p>保土ヶ谷区GIS活用推進事業【①473千円】</p> <p>「利用しやすい区役所」推進事業へ統合</p>

(4) 統合事業費一覧 (②18,242千円・9事業 ①17,953千円)

<p>1 広報よこはま発行事業【②8,128千円・①7,794千円】</p> <p>「広報よこはま ほどがや区版」を毎月発行することにより、市民が必要とする区政・事業等の行政情報を、分かりやすく正確に広報します。</p>
<p>2 広聴の相談事業【②670千円・①710千円】</p> <p>区民の多様な相談事項に応じて、法律相談等の機会を提供します。</p>
<p>3 クリーンタウンほどがや事業【②668千円・①668千円】</p> <p>次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。</p>
<p>4 消費生活対策事業【②101千円・①101千円】</p> <p>地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、悪質商法対策や消費生活向上に向け普及啓発を図ります。</p>
<p>5 緊急時情報システム事業【②290千円・①290千円】</p> <p>双方向機能を有する電話を利用した緊急時情報システムの運用を行い、災害等に関する緊急情報を区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長（自治会町内会長）に対して発信し、地域防災力の向上を図ります。</p>
<p>6 スポーツ推進委員事業【②2,270千円・①3,540千円】</p> <p>誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。</p>
<p>7 青少年指導員事業【②4,975千円・①3,710千円】</p> <p>青少年の健全育成を行うため、区または地域において青少年を対象にした事業を実施します。また、青少年の健全育成活動を推進する人材の育成及び研修事業を実施します。</p>
<p>8 学校・家庭・地域連携事業【②960千円・①960千円】</p> <p>青少年の非行防止や健全育成を推進するため、学校・家庭・地域が連携し地域の特性を生かしながら自主的に実施する事業を支援します。</p>
<p>9 健康づくり月間事業【②180千円・①180千円】</p> <p>保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発、市民と行政が連携した健康づくり運動の推進、及び地域に根ざした自発的な健康づくりを促進し、市民の生涯にわたる健康づくりに寄与することを目的とします。</p>

3 当区からの提案に基づく企画事業

(1) 《参考1》 区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しています。

(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業	3,000	連続立体交差事業による星川駅周辺の道路整備を契機として、前年度に実施した周辺交通の現況把握や地域の交通需要についてのアンケート調査について、詳細な分析や安全性や採算性の確保などを考慮し、検討路線の具体化に向けバス事業者とルート案について情報共有や調整を行います。 (事業所管局：道路局)
合 計	3,000	

(2) 《参考2》 元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援します。

(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
“輝け、地域力！”事業	2,581	少子高齢化や多様化する地域課題に対して的確に対応するため、地域支援に取り組むとともに、地域と行政の協働を推進します。
地域・まちづくり活動支援事業	1,217	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ区民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の促進を図るために、事業費を補助します。
保土ヶ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業	911	保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地域住民が主体となって取り組む地区別計画の推進や策定、地域課題の解決を支援します。
合 計	4,709	

星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業について

星川駅南口交通広場に乗り入れするバス路線等について検討するため、現在星川駅付近を通っているバス路線等の周辺にお住まいの皆様を対象としたアンケート調査を実施しましたので、調査結果の速報を報告します。

1 実施概要

6～7月にかけて実施した連合町内会等アンケートにてご要望を頂いた路線について、運行形態や車両人員配置、既存路線への影響等をバス事業者と検討し、移動状況を把握するアンケートを実施しました。

対象：次の路線周辺（鉄道駅周辺を除く）にお住まいの皆様（5,000人 を無作為抽出）

- ・相鉄：浜 11、浜 16、浜 17、浜 18、浜 19、浜 45、旭 5 系統
- ・市営：22、25、32、33、119、212 系統

内容：通勤・買い物など外出目的、外出頻度、行き帰りの時間帯、
普段よく利用する駅、駅までの交通手段、

最寄バス停から星川駅南口交通広場へバスが乗り入れた場合の利用意向 等

期間：令和元年 11 月 14 日～11 月 30 日（郵送形式）

2 結果概要

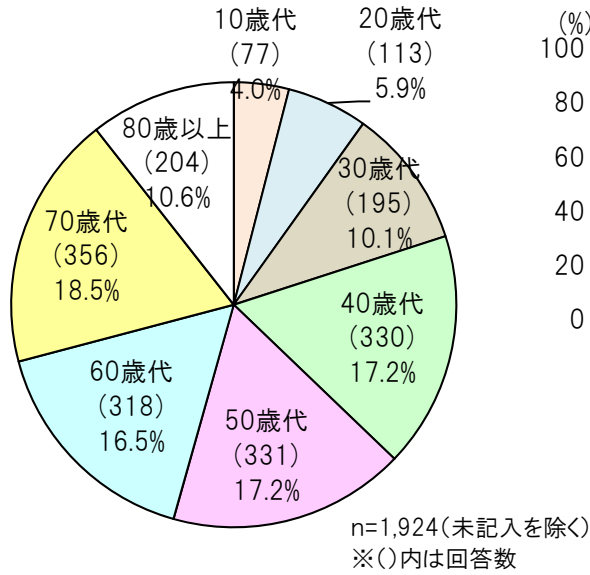
アンケートの配布数 5,000 に対し、回答数は 1,927（回答率 38.5%）でした。

対象バス路線の概要と主な結果は以下のとおりです。

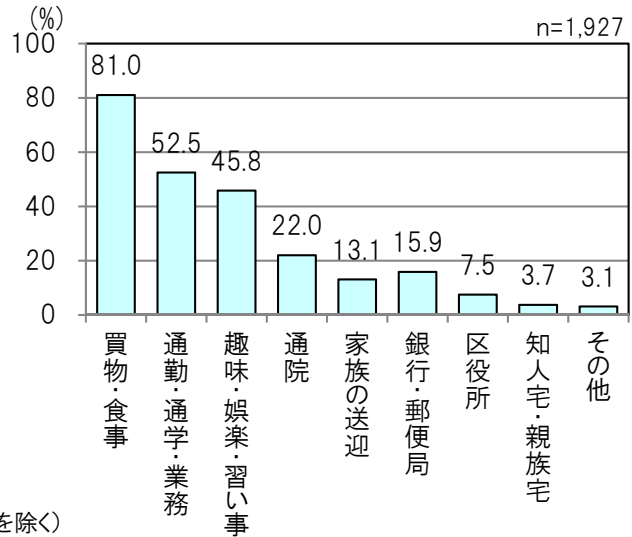
(1) 対象バス路線の起点～主な経由地～終点

浜11	横浜駅西口～三ツ沢総合グランド入口～三ツ沢西町～ひじりが丘～釜台住宅第3～上星川駅
浜16（和）	和田町駅～浄水場裏～市沢町～西原住宅入口～鶴ヶ峰駅
浜16（横）	横浜駅西口～洪福寺～和田町駅～浄水場裏～市沢町～西原住宅入口～西原住宅
浜17	東戸塚駅西口～【今井IC】今井町（横浜新道）～藤塚町～星川ランプ～東戸塚駅西口（一方循環）
浜18	東戸塚駅西口～【川上IC】今井町（横浜新道）～藤塚町～星川ランプ
浜19	和田町駅～浄水場裏～市沢町～新桜ヶ丘団地
浜45	美立橋～今井町～新桜ヶ丘第1～星川ランプ～星川駅～保土ヶ谷駅西口
旭5	二俣川駅北口～美立橋～今井町～法泉町～岩崎町～保土ヶ谷区役所入口～保土ヶ谷駅西口
22（和）	和田町駅～仏向原坂～仏向地域ケアプラザ前～仏向町団地～和田町駅～大門通～保土ヶ谷駅西口
22（保）	保土ヶ谷駅西口～桜ヶ丘～富士見橋～和田町駅～星川町～保土ヶ谷駅西口（循環）
25	横浜駅西口～洪福寺～明神台～花見台～桜ヶ丘～保土ヶ谷駅西口
32	保土ヶ谷車庫前～保土ヶ谷駅東口～久保山～尾上町～市庁前～関内駅北口（新県庁前）
33	和田町駅～花見台～栗の沢～和田町～保土ヶ谷駅西口
119	峯小学校前～和田町～下白根橋～稲荷通～新井町～鴨居駅
212	保土ヶ谷車庫前～保土ヶ谷駅東口～瀬戸ヶ谷小学校～保土ヶ谷駅東口～保土ヶ谷車庫前

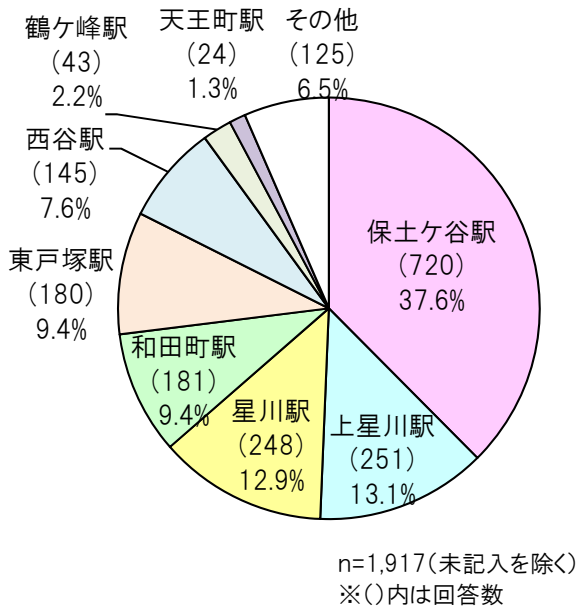
(2) 年齢層



(3) 外出目的 (複数回答)

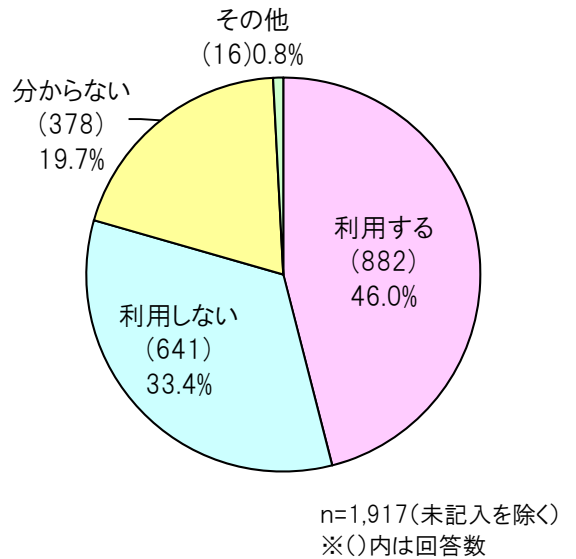


(4) よく利用する駅



(5) 最寄バス停から星川駅南口交通広場へ

バスが乗り入れた場合の利用意向(参考)
※これは単純集計結果です。今後はニーズの客観性を高めるため、他の設問と掛け合わせて分析(クロス集計)を行う必要があります。



3 今後の予定

現在、路線別や地域別等の詳細な分析を行っています。分析結果については、今年度中にお知らせします。

令和2年度は、アンケートの詳細な分析結果とともに、安全性や採算性の確保などを考慮し、検討路線の具体化に向けバス事業者とルート案について情報共有や調整を行います。

なお、バス路線の検討にあたっては、地域のニーズ把握のほか、バスが通行可能な路線であること、安全性や事業採算性が確保されることなどを考慮し、バス事業者と調整しながら具体化に向け検討していきます。

保土ヶ谷ほっとなまちづくりについて

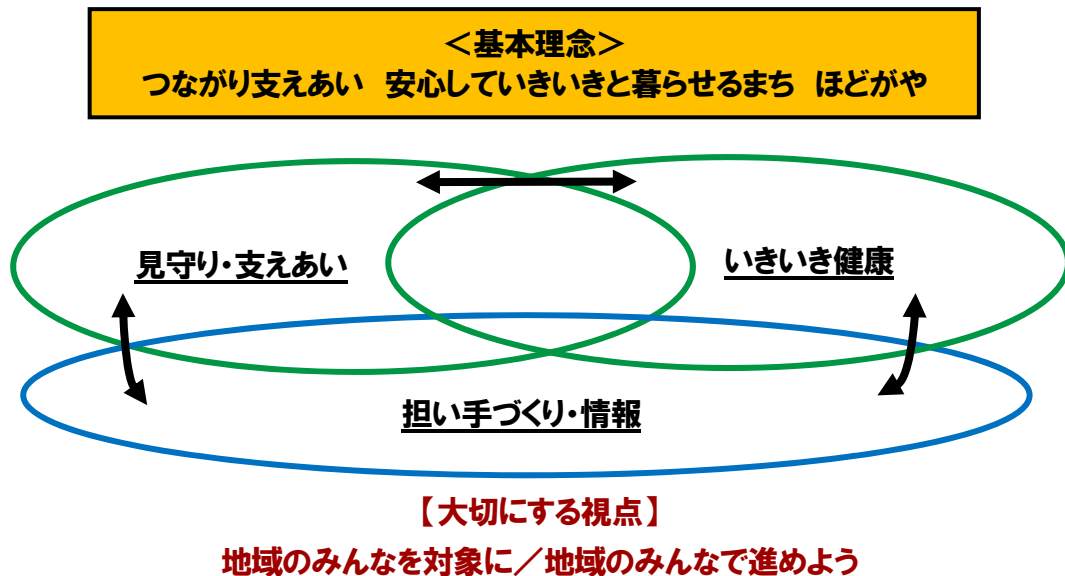
平成 28 年度からスタートした、第 3 期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）の進捗と、令和 3 年度からスタートする第 4 期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（以下、「第 4 期計画」という。）の策定について報告します。

1 ほっとなまちづくり推進会議（6 月、10 月、2 月開催）

区内の様々な関係団体・機関に参加していただき、第 3 期保土ヶ谷ほっとなまちづくりの取組状況についての確認や振り返りを行うとともに、今後の方向性などの御意見をいただいています。また、10 月の会議では、第 4 期計画の骨子（案）について御確認いただきました。

2 第 4 期計画の骨子

令和 3 年度からスタートする第 4 期計画の策定に向け、区社会福祉協議会と連携し、ほっとなまちづくり推進会議等で意見を収集しながら骨子を確定しました。



3 保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート

区民の意見を今後の方向性や具体的な取組に反映させるため、区内に居住する 18 歳以上の男女 4,000 人を対象に、5 月から 6 月にかけてアンケートを実施しました。（有効回答者数 1,794 人、有効回答率 44.9%）

業務委託による結果の分析を行い、ほっとなまちづくり推進会議や地区社会福祉協議会分科会等で御報告しました。また、第 4 期計画に向けた検討の材料となるよう、各地区に情報提供しています。（資料別添）

（裏面あり）

4 ほっとなまちづくり地区別データ集

第4期計画の策定にあたり、地区の概況を把握するための基礎資料として御活用いただくため、11月にデータ集を作成し、各地区に情報提供しています。(資料別添)

5 ほっとなまちづくりフォーラム

ほっとなまちづくりに関する日頃の活動をより多くの方に周知、共有して、さらに地域福祉保健の輪を広げていくことを目的として、12月7日に開催したほっとなまちづくりフォーラム～第37回保土ヶ谷区社会福祉大会～において、岩間地区と仏向地区による活動発表を行いました。(来場者数：約430名)



(岩間地区による活動発表)



(仏向地区による活動発表)

6 第4期計画策定スケジュール

- 令和2年 9月 ほっとなまちづくり推進会議で第4期計画素案(案)を確認
10～12月 第4期計画素案に関する意見募集
令和3年 2月 ほっとなまちづくり推進会議で第4期計画(案)を確認
3月 第4期計画を確定・公表

※地区別計画については、各地区で策定に向けた話し合いが行われており、令和2年10月にまとまる予定です。